

# Environment & Culture

## 環境・文化の醸成

タカラレーベングループでは、再生可能エネルギーの導入により、環境改善はもちろん、エネルギー自給率の向上、遊休地の活用をはじめとした地域活性化に貢献しています。また、文化的・社会的活動の機会提供を通じて、人々の生活水準の向上に取り組んでいます。



## 再生可能エネルギー「太陽光発電」

### 太陽光発電システム搭載マンションの供給

タカラレーベングループは、発電時に温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>を排出しない再生可能エネルギーを最大限に活用した、太陽光発電システム搭載マンションを供給しています。マンション

の屋上にソーラーパネルを設置し、物件（計画地）ごとに全量売電、余剰売電、戸別売電のシステムの中から最適なものを採用しています。

#### エネファーム\* & 戸別太陽光発電とのW発電マンションの供給

Case 「レーベン守谷 THE SQUARE」

日本初（2018年12月18日時点）となる、エネファームと戸別売電に対応する太陽光発電システムを採用した分譲マンションを供給しました。太陽光発電の戸別売電設備とは、太陽光発電で発電した電力を各家庭に割り振り、各家庭で自家消費し、余った電力を売電できるシステムです。また家庭用燃料電池「エネファーム」は、都市ガスから水素を取り出し、空気中の酸素と化学反応させて発電するとともに、発電時に発生する熱でお湯をつくる、無駄の少ないエネルギーシステムです。

「レーベン守谷 THE SQUARE」（茨城県守谷市）は、この2つの設備を標準搭載し、エネファームでつくった電気を優先的に消費。エネファームだけでは足りない電力を太陽光発電で補い、居住者のコスト・環境負荷の削減を実現しています。

\* エネファームは、東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社、JXTGエネルギー株式会社の登録商標です。



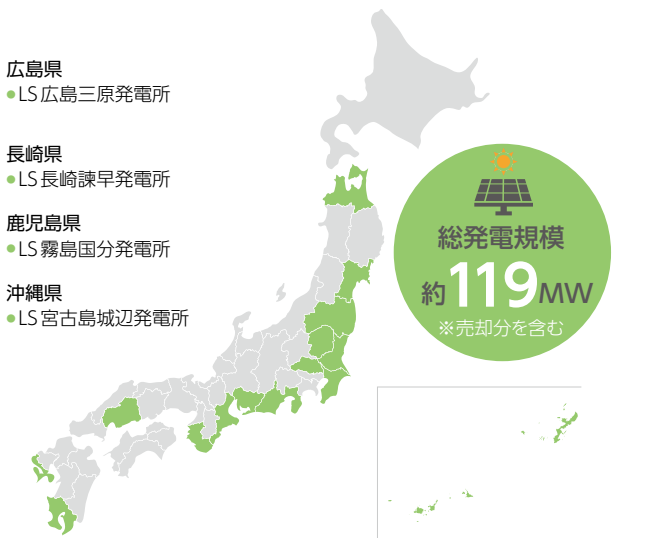
## 発電事業

当社グループでは、遊休地などにメガソーラー発電所を開発し、大規模な太陽光発電を行っています。この発電事業に参入した2013年以降、関東エリアを中心に数多くのメガソーラー発

電施設の開発を手掛け、現在、40施設が稼働中です。総発電規模は約119MW、2020年3月期までに200MWの稼働を目標にしています。

### ■メガソーラー発電施設一覧

<b>東北</b>	<b>青森県</b> ●LS青森平内発電所	<b>宮城県</b> ●LS宮城大郷発電所 ●LS宮城仙台A・B発電所	<b>福島県</b> ●LS福島矢祭発電所	<b>関東</b>	<b>茨城県</b> ●LS古河女沼発電所 ●LS利根発電所 ●LS筑西発電所 ●LSつくば房内発電所 ●LS美浦発電所 ●LS水戸高田発電所 ●LS利根布川発電所 ●LS桜川3発電所 ●LS神栖波崎発電所 ●LS鉾田発電所 ●LS桜川2発電所 ●LS稲敷荒沼1発電所 ●LS桜川中泉発電所 ●LS桜川4発電所 ●LS桜川下泉発電所 ●LS桜川1発電所 ●LS稲敷荒沼2発電所 ●LS高萩発電所	<b>関東</b>	<b>埼玉県</b> ●LS飯能美杉台発電所	<b>千葉県</b> ●LS千葉若葉区発電所 ●LS匝瑳発電所 ●LS千葉山武発電所	<b>中部</b>	<b>静岡県</b> ●LS静岡御前崎発電所	<b>愛知県</b> ●LS愛知豊橋発電所	<b>近畿</b>	<b>三重県</b> ●LS三重四日市発電所	<b>和歌山県</b> ●LS白浜発電所	<b>中国</b>	<b>広島県</b> ●LS広島三原発電所	<b>九州・沖縄</b>	<b>長崎県</b> ●LS長崎諫早発電所	<b>鹿児島県</b> ●LS霧島分発電所	<b>沖縄県</b> ●LS宮古島城辺発電所
-----------	--------------------------	---	--------------------------	-----------	---	-----------	---------------------------	---	-----------	---------------------------	--------------------------	-----------	---------------------------	-------------------------	-----------	--------------------------	--------------	--------------------------	--------------------------	---------------------------



### メガソーラー「LS塩谷2発電所」竣工式

2018年7月18日、栃木県塩谷郡塩谷町で建設を行っていたLS塩谷2発電所の竣工式を行いました。本発電所は、タカラレーベンが設置する発電所で2番目の発電容量（11,469.6kW）を誇ります。小型分散型パワーコンディショナーを採用することにより、初期投資およびランニングコストを低減。効率性と経済性に優れたメガソーラー発電所となっています。



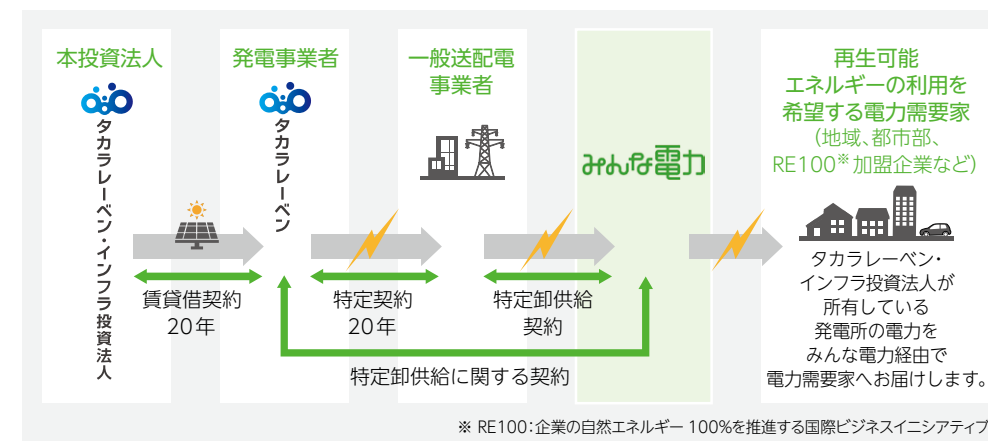
竣工式の様子

### 「みんな電力」へ電力供給開始

2019年1月より、LS三重四日市発電所とLS静岡御前崎発電所の電力を、ソーシャル・エネルギー・カンパニーである「みんな電力」へ供給しています。電力需要家が電力供給者を選択

できるみんな電力のサービスを通し、再生可能エネルギーの利用を希望する電力需要家へ電力を届けています。

### ■みんな電力の新スキーム



LS三重四日市発電所



LS静岡御前崎発電所



## ボタニカルガーデン アートビオトープ

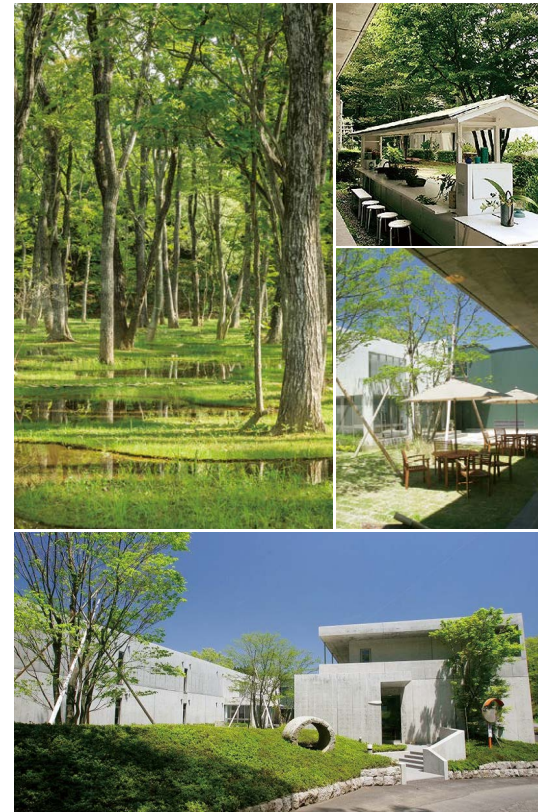
### 自然とアートが融合した新しい形のリゾート施設

タカラレーベングループ創業50周年に向けた象徴的な事業の一つとして、「ボタニカルガーデン アートビオトープ」プロジェクトを株式会社ニギシモと共同で進めています。

「ボタニカルガーデン アートビオトープ」は、美しい木々と清らかな水に恵まれた、那須山麓・横沢の地の豊かな自然環境の中で、人間と自然との新しい関係を提案する、新しい形のリゾート施設です。広大なガーデン「水庭」のほか、陶芸とガラススタジオを備えた宿泊施設「アートビオトープ那須」、地元で採れる新鮮な野菜を使ったレストラン、林にひっそりと佇むプレミアムヴィラ、ギャラリーカフェなどを有し、自然とアートが融合した、成長するリゾートとして未来のリゾートビジネスの形を提案しています。

自然との調和はもちろん、地産地消によるレストランの運営や「アーティスト・イン・レジデンス」プログラムを通じた芸術家の育成支援など、社会的・文化的活動のプラットフォームとしての役割を果たすことも目指しています。

当社グループは引き続き、環境に配慮する企業として、これからのリゾートやビジネスモデルの提案にもつながっていく活動を推進していきます。



豊かな自然環境と調和したリゾート施設

#### 施設概要

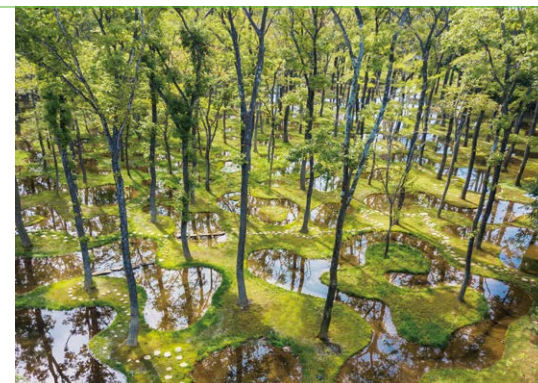
総称名：ボタニカルガーデン アートビオトープ  
 開発施設：「アートビオトープ那須」(運営中)  
 ボタニカルガーデン「水庭」(運営中)  
 プレミアムヴィラ「天と地」(仮称/2020年オープン予定)  
 レストラン(2020年オープン予定)

### 那須山麓の自然を生かしたボタニカルガーデン「水庭」

当施設を象徴する「水庭」は、横沢の自然環境を生かした、樹木、水、苔の要素が重なったランドアートです。そのデザインには、人と自然とを結ぶ庭として自然と共に生き、共に学ぶという共生のビジョンを込めました。

農業としての効率性を優先する従来の農園とは異なり、訪れた人々がまるで庭園で過ごしているかのように時の流れを感じ、コミュニケーションを図ることができる場所を目指しています。

この水庭のデザインは、日本建築学会賞、第12回ベネチア・ビエンナーレ国際建築展金獅子賞など、数々の賞を受賞している建築家の石上純也氏が手掛けました。



### Topic 「水庭」見学ツアー

体感することで事業に対する理解と共感を高める

2018年11月と2019年3月に、従業員を対象とした、「水庭」見学ツアーを開催しました。それぞれ、島田社長を含む役員・従業員が「アートビオトープ那須」を訪問。水庭や陶芸スタジオ、ヴィラ予定地などを見学し、自社の事業に対する理解とプロジェクトへの共感を深めました。



「水庭」を見学



陶芸スタジオでワークショップを体験

## 環境マネジメントの推進

### ISO14001 認証取得

日興タカラコーポレーションでは、環境問題への積極的な取り組みが経営上の重要課題であると考え、2008年に環境マネジメントシステムに関する国際規格「ISO14001」の認証を取得しました。

当社におけるISOの運用は「マネジメントマニュアル」に沿って行われ、年に1回、外部機関による運用管理確認が行われています。2018年度は5月に外部機関による実地監査が行われ、現状の認可を更新しました。

#### ■ 日興タカラコーポレーションの取り組み内容

- 建築現場でのゴミを分別し、リサイクルを促進する
- 社有車の環境配慮型・小型化への促進を行う
- 事業所単位での排出ゴミの分別と減量を行う
- 省エネルギー化に向けた、企画・設計・提案を採用する



### VOICE



日興タカラコーポレーションでは、不動産業と並び建設業も有しており、社会より環境の維持と保全を求められています。その背景から、国際規格「ISO9001(品質)」と「ISO14001(環境)」の認証を取得し、現在も年1回(5月)の継続または更新審査を受けて活動を続けております。私たちの生産活動から生じる一般ゴミや作業所産業廃棄物の削減目標を設定し、今日まで順調な削減と分別を行ってまいりました。

各種認可を維持し、健全な企業活動を継続するためにも重要なISO認証ですが、地球温暖化が深刻な問題として取り上げられている今こそ、緑豊かな地球を次世代に残すため、全社を挙げて「地球環境保全」と「環境負荷低減」に取り組んでおります。

日興タカラコーポレーション 代表取締役社長  
藤田 充彦

## 地域に住む価値の創造

### 「地産地住」×「文化伝承」

タカラレーベン西日本は、「地産地住」と「文化伝承」という2つの事業コンセプトのもと、その地域に根付いている文化や伝統工芸を地域の皆さまと一緒に繁栄させ、伝承させるお手伝いをしています。

マンションの共有部に「博多織」などの伝統工芸品を取り入れたり、企画段階から間取りやデザインに地域性を考慮したりする

ほか、地元の工芸組合と協力して共同でプランニングするなど、地域の皆さまと一緒に文化伝承に取り組み、インバウンド消費の活性化や、文化性の高いマンションのご提供につなげています。



「地産地住の価値創造」 「地域文化の伝承支援」

### VOICE



タカラレーベン西日本では、岡山県から以西の本州および四国、九州の地域での分譲マンション供給に取り組んでいます。「地産地住」「文化伝承」の具現化については、それぞれの案件ごとに、経営層をはじめ、携わる従業員全員で意見を出し合いながら進めています。現場進捗中の鹿児島県の案件では、集合住宅の玄関となるエントランスホールのインターホンまわりを桜島の溶岩を利用した壁面の設えの検討、またその他設計中の案件では、地元協業組合の方の協力をいただき、地産の瓦を使ったモニュメントの設置を検討しております。

地域色豊かなものづくり、押付けではなくその地に自然と溶け込む住まいの提供を目指し、用地取得時より地域の歴史、文化的側面についての情報収集を行うことにより、その場所でしかない地域性を、住まう中でお客さまが実感できるように仕掛けづくりに取り組んでいます。

タカラレーベン西日本 開発本部 開発企画部  
香野 敦信



## スポーツ・文化への協賛

### 東北・みやぎ復興マラソン 2018

タカラレーベンおよびタカラレーベン東北は、「東北・みやぎ復興マラソン 2018」(主催：株式会社仙台放送、一般財団法人宮城陸上競技協会)に協賛し、東北の復興を支援しました。2018年10月13～14日、宮城県で行われた当イベントに当社従業員がランナーとして参加し、42.195kmを完走しました。



スタート直後のランナー



イベントを盛り上げる太鼓の演奏

### 大相撲イベント「はっきよいKITTE」

「はっきよいKITTE」(共催：日本郵便株式会社、JPビルマネジメント株式会社)は、東京駅直結の商業施設「KITTE (キッテ)」で行われる夏の恒例イベントです。横綱をはじめとする全幕内力士が登場し、横綱の土俵入りや綱締め、迫力ある取組を間近で楽しめるほか、相撲甚句や髪結い、力士トークショーなど盛り沢山の内容で、丸の内にながら、両国国技館さながらに大相撲の魅力を肌で感じられます。タカラレーベンは2017年度に引き続き2018年度も「はっきよいKITTE」に協賛し、相撲ファンや親子連れ、訪日外国人など幅広い層に相撲の魅力を伝えるお手伝いをしました。



イベント当日のKITTE外観



盛り上がる会場内の様子

### 将棋タイトル戦「<sup>えいおう</sup>叡王戦」

「叡王戦」は株式会社ダウンゴが主催する将棋タイトル戦です。予選トーナメントの注目局と準決勝以上の対局、本戦トーナメントと決勝七番勝負が、ライブ動画配信サービス「ニコニコ生放送」で生中継されます。タカラレーベンは叡王戦の第3期、第4期に協賛し、伝統文化としての将棋の普及・発展に貢献しています。



対局前の会場の様子



### grape Award 2018

タカラレーベンは、WEBメディア「grape (グレイブ)」にて行われた、『心に響く』エッセイコンテスト「grape Award 2018」に特別協賛しました。「心に響く」をテーマとした全応募作品の中から、当社グループのビジョンである「幸せを考える。幸せをつくる。」にふさわしい「幸せ」が感じられる作品に、「タカラレーベン賞」としてトロフィーと副賞の賞金10万円、記念品として当社が京都府京都市内で展開しているホテルのペア宿泊券を贈呈しました。



「grape Award 2018」表彰式の様子